

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

|      |    |     |          |
|------|----|-----|----------|
| 学校番号 | 48 | 学校名 | 土岐商業高等学校 |
|------|----|-----|----------|

|                     |   |  |
|---------------------|---|--|
| 学校教育目標<br>(教育方針)    | <p>1. 職員と生徒が一体となり、あらゆる教育活動を通して、質実剛健・明朗闊達な校風を樹立します。</p> <p>2. 望ましい職業観を育成するとともに、誠実・勤勉で人間性豊かな産業人を育成します。</p> <p>3. 普通教育と商業に関する専門教育との調和のとれた指導を通して、生涯にわたって、創意をはたかせ、進歩向上を図るための基礎的能力を育成します。</p> |  |
| 3つの方針<br>(スクールポリシー) | どんな生徒を<br>育てたいか<br>【GP】   | <p>◎「将来(先)を見据え、今すべきことを前向きに考え、挑戦・行動できる土岐商生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びに貪欲で、考えをもって失敗を恐れず挑戦し、継続的に行動できる生徒</li> <li>・豊かな心と自身をもち、他人を思いやり、共同・協働し、自分で考え行動できる生徒</li> </ul> <p>◎「商業を学び、地域貢献を大切にできる土岐商生」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関する専門性を活かし、問題解決に対して主体的に行動できる生徒</li> <li>・地域とつながり、卒業後は即戦力のある人財として、地元や社会への貢献ができる生徒</li> </ul> |
|                     | 生徒をどう<br>育てるか<br>【CP】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本となる学力の定着を図り、学ぼうとする意欲を向上させ、ICTを活用しながらコミュニケーション能力と発信力を育成する専門教育</li> <li>・各種資格取得を目標とし、学科・コースを自ら選択した上で取り組む専門的な学習</li> <li>・地域を含む外部との連携で、実社会の課題を知り、できることを考え実行していく機会を体験する「探究的な学び」を推進</li> </ul>   |
|                     | どんな生徒を<br>待っているか<br>【AP】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の校風と商業に関する専門的な学習や部活動に関心があり学びたい生徒</li> <li>・高校生活の中で具体的な目標を定め、積極的に取り組み、挑戦したいという意欲のある生徒</li> <li>・地域と関わる機会があれば自ら進んで参加し、校内では共同・協働の機会である部活動や生徒会活動を通じて、より良い社会の礎となるために考えて行動できる生徒</li> </ul>   |
| 学校の抱える課題            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員が充たされるだけの入学者を確保できていない。将来生徒数が減少することも含め、安定した生徒数の確保が必要。</li> <li>・大学への進学を志す生徒で、本校で実施した探究学習の実績を元にして総合型選抜で合格する生徒がいない。</li> </ul>                   |  |
| 教育指導の重点             | 領域・分野   | 今年度の具体的な重点目標   |
|                     | 学習指導  | 基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、生徒の状況に応じた学びを充実させ、専門知識・技術を習得し、各種資格取得を目指します。  |
|                     | 進路指導  | 望ましい勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択ができる能力や態度を身に付けます。   |
|                     | 生徒指導  | 生命を尊重する態度と規範意識の高揚を育成し、「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」を身に付けます。  |
|                     | 特別活動  | 部活動や生徒会活動を通して、礼儀やマナーを学び、社会性を身に付けます。  |

| 年度目標 |  |                     |                                      |
|------|--|---------------------|--------------------------------------|
| 領域分野 | 3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な<br>具体的取組・方策                                | 県教育振興基本計画で<br>の位置付け | 達成度の判断・判断基準<br>あるいは評価指標              |
| 学習指導 | 毎時間の授業を重視し、家庭学習の習慣を付けさせ、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。                      | 8                   | 施策Ⅱ-8<br>基礎力診断テスト等の実施による定着度の分析       |
|      | ICT機器を活用した授業研究を進め、効果的な運用（探究学習）により、生徒の状況に応じた学びの充実を図ります。           | 9                   | 施策Ⅱ-9<br>学校評価アンケート<br>(90%以上の肯定的評価)  |
|      | 資格取得の目的や意義、目標を明確にし、合格のための指導体制を整え支援する。                            | 14                  | 施策Ⅱ-14<br>検定取得者数、受賞者数<br>(前年比増を目指す)  |
|      | 授業研究会を実施し、自身の授業改善に努め、授業力向上のための研修を充実させます。                         | 26                  | 施策Ⅳ-26<br>生徒アンケート(90%以上の肯定的評価)       |
| 進路指導 | 学年・分掌・教科と連携した土岐商WEP（インターシップ）の計画的な実施と外部の教育力を活用し、望ましい勤労観・職業観を育成する。 | 4                   | 施策Ⅰ-4<br>進路決定率（100%を目指す）             |
|      | 適性検査・新聞コラム・補習・小論文講座により、進路実現のための確かな学力や専門知識・技能を身に付けるための指導を充実させる。   | 10                  | 施策Ⅱ-10<br>学校評価アンケート<br>(90%以上の肯定的評価) |
|      | 学年に応じたキャリア教育を推進し、将来の夢や希望の実現に向けて主体的な進路選択ができるようガイダンス機能を充実させる。      | 13                  | 施策Ⅱ-13<br>学校評価アンケート<br>(90%以上の肯定的評価) |
| 生徒指導 | 安全確保を最優先に考え、生命を尊重する態度を育てます。                                      | 19                  | 施策Ⅲ-19                               |
|      | 「挨拶」「身だしなみ」「遅刻防止」を重点とし、全職員で粘り強く指導する。                             | 2                   | 施策Ⅰ-2<br>学校評価アンケート<br>(80%以上の肯定的評価)  |
|      | 規範意識の高揚のため、外部講師による講話や全校集会等を通じて、モラルやマナーについて呼びかける。                 | 1                   | 施策Ⅰ-1<br>学校評価アンケート<br>(80%以上の肯定的評価)  |
|      | 教育相談アンケート、二者面談、研修会を実施し、生徒の様子や人間関係の実態を的確につかみ、全職員が共通理解のもと指導にあたる。   | 3                   | 施策Ⅰ-3<br>教育相談アンケートによる分析              |
| 特別活動 | 部活動や生徒会活動への自主的・自発的な参加を促し、所属意識を高め、礼儀やマナーなどを学ぶことにより、社会性を育みます。      | 20                  | 施策Ⅳ-20<br>学校評価アンケート<br>(80%以上の肯定的評価) |
|      | 各部活動の競技力向上に努め、各種競技大会等で高い到達目標を掲げ活発に活動します。                         | 24                  | 施策Ⅳ-24<br>大会記録・結果（全国大会出場数前年比増を目指す）   |
|      | H P による情報提供により各部の活動を積極的に広報し、学校全体で部活動の活性化を図ります。                   | 25                  | 施策Ⅳ-25<br>学校評価アンケート<br>(80%以上の肯定的評価) |
|      | 活動場所や用具の点検、熱中症予防や救急法に関する講習会を実施し、安心・安全に活動できる環境を整備します。             | 19                  | 施策Ⅲ-19<br>部活動に関わる重大事故件数（0件を目指す）      |

| 年度末評価（自己評価）             |                  |       |                    |
|-------------------------|------------------|-------|--------------------|
| 取組状況・実践内容<br>評価項目の達成状況等 | 評価<br>A. B. C. D | 成果と課題 | 総合評価<br>A. B. C. D |
|                         |                  |       |                    |
|                         |                  |       |                    |
|                         |                  |       |                    |
|                         |                  |       |                    |
|                         |                  |       |                    |
|                         |                  |       |                    |
|                         |                  |       |                    |

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日